

# 「岩手型住宅」に関する建設事例集 及びパンフレットの作成について

建築住宅課

岩手県では、「さらなる省エネ性能」を持ち、県産木材の活用などの「岩手らしさ」を推奨する「岩手型住宅ガイドライン」を令和6年3月に改訂し、建設事例集及びパンフレットを作成・公表しました。

## 1 岩手型住宅の建設事例集

岩手型住宅賛同事業者により、県内に新築又はリフォームされた一戸建て住宅について、岩手型住宅の要件を満たす住宅を随時募集し、岩手県のホームページで公表しています。

多くの省エネ住宅を紹介していますので、是非、住宅を建設する際の参考としてください。

【新築の事例】

【リフォームの事例】



<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/kenchiku/kojin/iwategata/1077901/index.html>



## 2 岩手型住宅のパンフレット

令和6年3月に改訂した「岩手型住宅ガイドライン」の内容を、より分かりやすく凝縮したパンフレットを作成しました。岩手県のホームページでも公表するほか、住宅関係イベントや住宅展示場などで配布する予定としています。

**岩手型住宅とは**

「さらなる省エネ性能」を持ち、  
県産木材の活用などの「岩手らしさ」を  
考慮した住宅です。

**さらなる省エネ性能**  
その寒さの厳しい岩手において、室内の温かさを維持し、快適で健康的な生活を送るために、「断熱性能等指標」をクリアする省エネ性能を確保します。さまざまな新しい建築型住宅にすることも可能です。

**岩手らしさ**  
県産木材の活用  
カーボンニュートラルや地域産業の振興に資する県産木材の活用を推奨します。

**期待される7つの効果**

- 01 冬の寒さ対策: 断熱性能が高く、住宅内に温度差がある家に住んでいると、冬はヒートショックの発生するリスクが高まります。
- 02 体感温度の改善: 断熱性能が高いと室内の温度差は低くなります。壁や天井の表面温度を高くすると、温度と湿度に均せれます。
- 03 結露の抑制効果: 断熱性を高めることで、冬季における結露の発生を抑制することができます。
- 04 カビの抑制効果: 断熱性を高めることで、壁の表面温度が上がり、相対湿度が低くなるためカビが発生しにくくなります。
- 05 健康維持効果: 住宅の断熱・気密性の向上により、換気設備が稼働できることが研究によって示されています。(換気設備の効果)
- 06 熱中症対策: 断熱性能が高い住宅では、日射を適切に遮ることで、外の熱が家中に入りにくく、室温上昇を抑えることができます。
- 07 光熱費等の削減効果: 省エネ性能を高めると、冷暖房負荷が減り、光熱費の削減につながります。また、改修効果による健康被害の削減も期待できます。